

ウイルス学会関連研究集会紹介

1. 日本ウイルス学会北海道支部の活動について

澤 洋文, 大場 靖子

日本ウイルス学会北海道支部会 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

1965年に日本ウイルス学会北海道支部が発足して、今年が丁度55年になります。日本ウイルス学会北海道支部では、北海道大学の農学研究院、医学研究院、獣医学研究院、水産学部、北海道大学病院、遺伝子病制御研究所、人獣共通感染症リサーチセンター、札幌医科大学の医学部、帯広畜産大学の獣医学研究部門、酪農学園大学の獣医学研究科、酪農学研究科、北海道立衛生研究所、農研機構 動物衛生研究部門 北海道研究拠点の各施設から、植物ウイルス学、基礎ウイルス学、獣医ウイルス学、魚類ウイルス学、臨床ウイルス学を研究している研究者が集まって、研究成果のupdateを共有する組織として機能しております。本年度は、後述の夏季シンポジウムに出席する学生会員の登録が出来なかったため、例年より学生会員数の増加はありませんが、現在の会員数は、一般会員69名、名誉会員4名となっております。

例年、会員が一堂に集い、特別講演、一般講演、ポスター発表を含めた夏季シンポジウムを開催しており、本年度も、2020年7月25-26日にかけて、北海道上川郡新得町のLAKE INNで実施する予定でした。しかしながら、2019年末からのCOVID-19の感染状況を考慮して、夏季シンポジウムを1年間延期することに致しました。

その代わりに、本年度は日本ウイルス学会北海道支部でも初めての試みとなりますCOVID-19 web symposiumを開催することに致しました。本稿の図にあります様に、夏季シンポジウムの開催予定日でした2020年7月26日(日)の14時から16時にかけて、COVID-19対策において臨床、疫学、診断、研究の各分野の最前線で活躍している先生方

に、最新の情報をwebで講演していただきました。初めての試みでもあり、一般公開の形式はとらずに、日本ウイルス学会北海道支部会会員および会員所属教室の学生に限定した配信としましたが、それでも、約60名の参加がありました。

本COVID-19 web symposiumでは、札幌医科大学の横田伸一先生が座長となり、臨床の観点から、北海道大学病院 感染制御部の石黒信久先生が、「Topics of COVID-19 Infection」について、疫学の面から、北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター バイオインフォマティクス部門の大森亮介先生が、「Age-specificity of susceptibility against COVID-19infection」について(本講演内容については、10月13日の北海道新聞に記載されました)、診断、研究については、国立感染症研究所 感染病理部の鈴木忠樹先生が「Pathological analysis of COVID-19」について講演されました。

それぞれの先生は、専門の立場からCOVID-19に関する最前線の情報について講演していただき、また、web symposiumではありましたが、現在のCOVID-19対策、またその原因ウイルスで有るSARS-CoV-2の感染病態についても聴衆から質問が有り、活発な意見交換がなされました。

COVID-19 web symposiumで講演いただいた、石黒信久先生、大森亮介先生の講演内容につきましては、2021年度初頭に冊子として作成されます、「日本ウイルス学会 北海道支部会報 第52巻」にて「COVID-19感染症の概略」および、「新型コロナウイルス感染症に対する感受性の年齢依存性の考察」として発表される予定です。

本稿を記載しております2020年11月23日現在、Johns hopkins resource centerのhomepageによると、191の国と地域を含む国際社会におけるCOVID-19の全症例数は約5873万人、死亡者数は約139万人と報告されており(<https://coronavirus.jhu.edu/map.html>)、厚生労働省のhomepageによると、日本での累計陽性者数は約13万2000人、現在の入院治療等を要する者の数は約1万7800人となっております(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00004.html)。また、北海道においては、11月に

連絡先

〒001-0020

北海道札幌市北区北20条西10丁目

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

分子病態・診断部門

TEL: 011-706-5185

FAX: 011-706-7370

E-mail: h-sawa@czc.hokudai.ac.jp

日本ウイルス学会北海道支部会

COVID-19 web symposium

COVID-19対策において臨床、疫学、診断、研究の各分野の最前線で活躍している先生方に、最新の情報をご講演いただきます。

【日時】 2020年7月26日(日曜日) 14:00~16:00
【場所】 Webexによるオンライン配信
 開催前にメールにて会員に参加URLをお知らせいたします。

【プログラム】

<座長> 横田 伸一 先生 札幌医科大学医学部微生物学講座

14:00- 14:05 開催にあたって
 澤 洋文 支部会長 北大人獣共通感染症リサーチセンター

<演者>

14:05- 14:40 「Topics of COVID-19 Infection」
 石黒 信久 先生 北海道大学病院 感染制御部

14:40- 15:15 「Age-specificity of susceptibility against COVID-19 infection」
 大森 亮介 先生 北大人獣共通感染症リサーチセンター
 バイオインフォマティクス部門

15:15- 15:50 「Pathological analysis of COVID-19」
 鈴木 忠樹 先生 国立感染症研究所 感染病理部

日本ウイルス学会北海道支部の名義、一般会員限定の配信となりますが、会員の皆様の研究室に所属の学生も参加いただけます。非会員の方で参加を希望される方は入会手続きをお願いいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

【主催】 日本ウイルス学会北海道支部会
 【連絡先】
 日本ウイルス学会北海道支部事務局
 支部長 澤 洋文、事務局 大場 靖子
 〒001-0020 札幌市北区北20条西10丁目
 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
 分子疫学・診断部門
 Tel : 011-706-9508, FAX : 011-706-7370
 Mail : orbay@czc.hokudai.ac.jp

入ってから新規の COVID-19 症例の発生が増加しており、道内で確認された症例はこれまでに、延べ 7,369 例となっております (<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/hasseijoukyou.htm>)。

斯かる状況におきまして、私共、日本ウイルス学会北海道支部会も、各人がそれぞれの立場から COVID-19 対策に貢献出来る様、これからも努力していこうと考えております。

本稿に関連し、開示すべき利益相反状態にある企業等はありません。